

平成29年度(2017)

事業報告書

社会福祉法人 泰 耀

目 次

平成29年度事業報告	1P
現況報告書	2P
平成29年度 各部署事業報告	9P
写真による1年のあゆみ	14P

平成29年度の事業報告

連日、総理大臣に対する野党の鋭い質問がマスコミによって報道されていますが、国の官僚が国民のためにではなく事実をごまかすような総理大臣のために働いているように見えるのはとても残念であり、書類の改ざんや破棄、隠蔽等を行うような官庁が果たして私達のような一般の法人に指導や監督ができるのかは疑問に思われます。

当法人においては29年度の事業計画に沿って放課後等デイ(主に中学、高校生を対象)のさらだにおける開設や駐車場の増設を行うことができました。さらに昨年度の国の補正予算でさらだの増築工事が認められ、本年5月17日に地鎮祭が執り行われました。この増築では放課後等デイと福祉避難スペースが設計されており、能美市からも補助が出ております。

また本年1月からこれまで医療法人で運営していた加賀市のデイサ花花(介護保険デイサービス)を泰耀に移管してフレンズやひかりと連携して運営することにより、加賀地区での事業所間のさらなる連携を目指すことになりました。

開設から3年を経て各事業所の収支についても一定のめどがついたことから、平成30年度は各事業所の連携を図りながら我々アイデアグループのキャリアパス制度の羅針盤であるアイデアパスを法人の職員に配布して職員のスキルアップを図り、また障がい分野のグループホームなど、地域のニーズに応える事業の検討を継続したいと考えております。

平成30年5月31日

社会福祉法人 泰 耀

理事長 木田 泰弘

現況報告書

平成30年4月1日現在

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分 17石川県 (2)市町村区分 211能美市 (3)所轄庁区分 17000
 (4)法人番号 62200005007806 (5)法人区分 01一般法人 (6)活動状況 01運営中
 (7)法人の名称 社会福祉法人泰耀
 (8)主たる事務所の所在地 能美市大成町ヌ160番地2
 (9)主たる事務所の電話番号 0761-55-6060 (10)主たる事務所のFAX番号 0761-55-6062
 (11)従たる事務所の有無 無 (12)従たる事務所の所在地
 (13)法人のホームページアドレス <http://ida-group.biz/controller/taiyotop>
 (14)法人のメールアドレス taiyou@idagroupde.com
 (15)法人の設立認可年月日 平成26年2月27日 (16)法人の設立登記年月日 平成26年2月28日

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員 4人 (2)評議員の現員 4人 (3-6)評議員全員の報酬等の総額(円) 0

(3-1)評議員の氏名	(3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
善田 善彦	会社役員	H29.4.1～平成32年度に関する定時評議員会終結時	2無	2無	2回
本多 他家志	大成町町会長	H29.4.1～平成32年度に関する定時評議員会終結時	2無	2無	2回
廣島 優樹	司法書士	H29.4.1～平成32年度に関する定時評議員会終結時	2無	2無	2回
高田 志佳子	ポータルサイト指導員	H29.4.1～平成32年度に関する定時評議員会終結時	2無	2無	2回

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1) 理事の定員 6人

(2) 理事の現員 6人

(3-12) 理事全員の報酬等の総額(円) 0

(3-1) 理事の氏名	(3-2) 理事の役職	(3-3) 理事長への就任年月日	(3-4) 理事の常勤・非常勤	(3-5) 理事選任評議員会議決年月日	(3-6) 理事の職業	(3-7) 理事の所轄庁からの再就職状況
	(3-8) 理事の任期	(3-9) 理事要件の区分別該当状況	(3-10) 各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11) 理事報酬等の支給形態		(3-11) 前会計年度における理事会への出席回数
木田 泰弘	1 理事長	平成26年2月27日	2 非常勤	平成29年6月3日	医師	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	事業区域における福祉に関する実情に通じている者	1 有	3 職員給与のみ支給		4 回
木田 福美	2 業務執行理事		1 常勤	平成29年6月3日	施設長	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	施設の管理者	1 有	3 職員給与のみ支給		4 回
丹羽 和夫	3 その他の理事		2 非常勤	平成29年6月3日	会社役員	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	4 いずれも支給なし		4 回
金子 正之	3 その他の理事		1 常勤	平成29年6月3日	福祉施設職員	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	3 職員給与のみ支給		4 回
古田 康隆	3 その他の理事		2 非常勤	平成29年6月3日	元社会福祉施設職員	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無	3 職員給与のみ支給		4 回
矢鋪 幸代	3 その他の理事		1 常勤	平成29年6月3日	福祉施設職員	2 無
	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	3 職員給与のみ支給		4 回

3. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1) 監事の定員 2人

(2) 監事の現員 2人

(3-6) 監事全員の報酬等の総額(円) 0

(3-1) 監事の氏名	(3-2) 監事の職業	(3-2) 監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3) 監事選任評議員会議決年月日	(3-4) 監事の任期	(3-5) 監事要件の区分別該当状況	(3-7) 前会計年度における理事会への出席回数
北村 達也	会社役員	2 無	平成29年6月3日	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	社会福祉事業に識見を有する者	3 回
岡田 裕美子	公認会計士	2 無	平成29年6月3日	平成29年6月3日～平成30会計年度に関する定時評議員会終結時	財務管理に識見を有する者	3 回

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別出席状況		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
平成29年5月20日	5	0	平成28年度事業報告案承認の件 平成28年度収支決算報告（計算関係書類及び財産目録）承認の件 経理規定及び旅費規程改正案承認の件 定時評議員会日程及び議案の件
平成29年6月3日	6	2	理事長及び業務執行理事選任の件
平成29年11月16日	6	2	定款変更案承認の件 経理規定変更案承認の件 平成29年度第1次補正予算案承認の件 「デイサ花花」運営規定承認の件 臨時評議員会日程及び議案の件 平成30年度国庫補助協議の件
平成30年3月15日	6	2	平成29年度第2次補正予算案承認の件 平成30年度事業計画案承認の件 平成30年度当初予算案承認の件 サンサポートさらだ増築計画案承認の件 サンサポートさら増築工事入札案承認の件 就業規則改正案承認の件

(4)うち開催を省略した回数 0回

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名	北村達也	宮越正弘
(2)監査報告により求められた改善すべき事項	特になし	
(3)監事監査により求められた改善すべき事項に対する対応	特になし	

10. 前会計年度に実施した会計監査の状況

なし

11. 前会計年度における事業等の概要-(1)社会福祉事業の実施状況

①-1 拠点 区分 コード 分類	①-2拠点区 分名称	①-3事業類型 コード分類		①-4実施事業名称		②事業所の名称		
		③事業所の所在地		④事業所の土 地の保有状況	⑤事業所の建 物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月 日	⑦事業所 単位での 定員	⑧年間(4月 ～3月)利 用者延べ総 数(人/
⑨社会福祉施設等の建設等の状況(建設等なしにつき省略)								
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	02130113		障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)		サンサポートさらだ		
		石川県	能美市	3 自己所有	3 自己所有	平成26年10月1日	40	6,763
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	00000001		本部経理区分		法人本部		
		石川県	能美市	3 自己所有	3 自己所有	平成26年10月1日	0	0
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	02130303		計画相談支援		相談支援センターたいよう		
		石川県	能美市	3 自己所有	3 自己所有	平成26年10月1日	0	
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	02090103		障害児通所支援事業(放課後デイサービス)		ぶちいさらだ		
		石川県	能美市	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成28年2月1日	10	1,201
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	06260301		(公益) 居宅介護支援事業		相談支援センターたいよう		
		石川県	能美市	3 自己所有	3 自己所有	平成28年4月1日	0	
001	社会福祉法 人泰耀 サン サポートさらだ	02090103		障害児通所支援事業(放課後デイサービス)		放課後等デイサービス		
		石川県	能美市	3 自己所有	3 自己所有	平成29年9月1日	5	397
002	社会福祉法 人泰耀 ケア ホームフレンズ	02130114		障害福祉サービス事業(共同生活援助)		ケアホームフレンズ		
		石川県	加賀市	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成27年6月1日	7	2,501
003	社会福祉法 人泰耀 ぶ ちいさらだ	02090103		障害児通所支援事業(放課後デイサービス)		ぶちいさらだ		
		石川県	能美市	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成29年9月1日	10	1,348
004	社会福祉法 人泰耀 デイ サ花花	02120202		老人デイサービスセンター(通所介護)		デイサ花花		
		石川県	加賀市	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成30年1月1日	35	1,951

11. 前会計年度における事業等の概要-(2)～(4)公益事業・収益事業・備考
なし

11-2. うち地域における公益的取り組み(地域公益事業含む)(再掲)
なし

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況

(1) 社会福祉充実残額等の総額 (円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額 (計画期間中の総額)	
①社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業)	0
②地域公益事業 (円)	0
③公益事業 (円)	0
④合計額 (①+②+③) (円)	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業)	0
②地域公益事業 (円)	0
③公益事業 (円)	0
④合計額 (①+②+③) (円)	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	~ <input type="text"/>

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組	
①任意事項の公表の有無	
⑦事業報告	1 有
⑧財産目録	1 有
⑨事業計画書	1 有
⑩第三者評価結果	2 無
⑪苦情処理結果	2 無
⑫監事監査結果	1 有
⑬附属明細書	1 有
(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況	
①事業運営に係る公費 (円)	0
②施設・設備に係る公費 (円)	0
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額 (円)	0
(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について	
施設名	直近の受審年度

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況	
①実施者の区分	
②実施者の氏名 (法人の場合は法人名)	
③業務内容	
④費用 [年額] (円)	
(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況	
①所轄庁から求められた改善事項	
②実施した改善内容	

15. その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（(独)福祉医療機構）に加入	2 無
② 中小企業退職金共済制度（(独)勤労者退職金共済機構）に加入	2 無
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	2 無
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	2 無
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	1 有
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

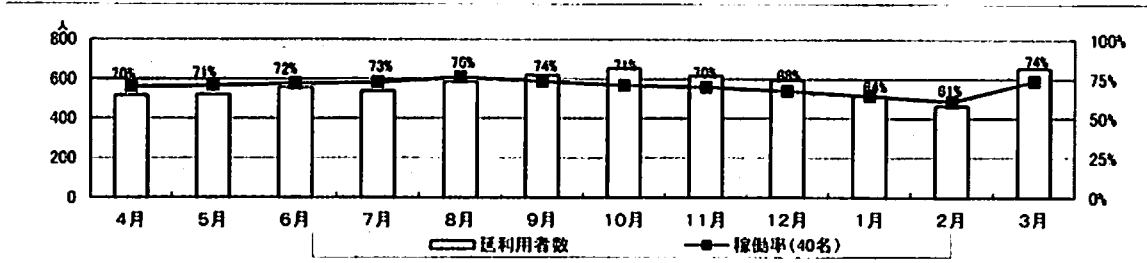
※この様式は、社会福祉法人 財務諸表等入力シートを基に非該当部分などを削除して、見やすく加工したものです。

平成29年度 各部署年間実績

サンサポートさらだ

収入 57,415千円 支出 62,972千円 収支差額 △5,557千円

さらだ・ひかり	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	514	520	554	536	585	617	653	615	593	513	462	652	6814
平均利用者数	24.5	24.8	25.2	25.5	26.6	29.4	28.4	28	27	25.7	24.3	29.6	26.6
支障1人当利用者数	2.9	2.87	3.2	3.31	3.18	3.18	3.01	3.12	3.14	2.91	2.82	3.38	3.1
新規利用者数	2		0	0	3	8	2	1	0	2	0	4	22
中止利用者数	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
稼働率(40名)	70%	71%	72%	73%	76%	74%	71%	70%	68%	64%	61%	74%	70%



29年度事業の報告

平成29年は登録者33名から始まり、徐々に新規利用者との契約も増え、9月からはサンサポートさらだにおいて放課後等デイサービスの事業を開始。児童の新規契約者も加え、今年度で22名の新規契約者が増えた。年度を終えてみて、6月・10月には特別支援学校の実習生(3年生:3名 2年生:2名)を広く受け入れ、平成30年の4月には卒業生3名が新規の契約となっている。主に知的障害の方は学業を終えると同時に事業所を一度決めると、以後事業所を変更する事が少ない傾向にある為、在学中の実習の感想・手ごたえ等がとても重要であり、今後も特別支援学校の実習に対しては広く相談できる体制を整えたい。

地域の状況として、医療ケアが必要な方(成人・児童共に)の相談が見られ、今年度も医療ケア(経管栄養・吸痰)の必要な方の新規契約があった。医療ケアは実施者も専門職員が必要になったり、周囲の環境も調整が必要であったりと闇雲に対象者を増やして行える支援ではないが、地域のニーズでもあり、今後も拡大できるよう調整が必要になると考える。

30年度事業の展開

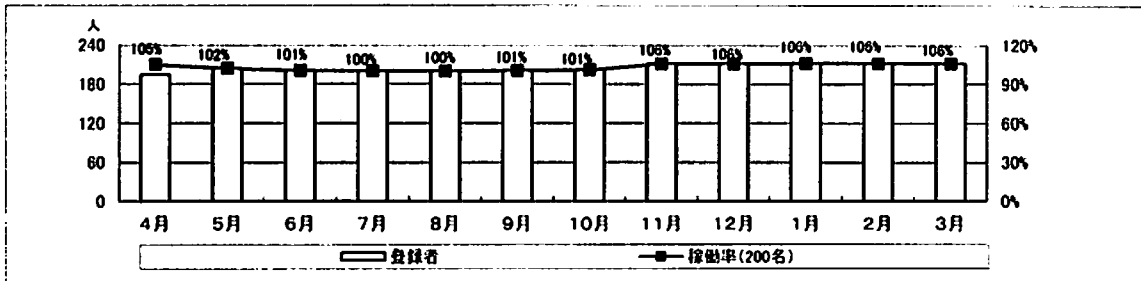
平成30年度は、現在4月～特別支援学校の卒業生や就労サービス、児童サービスを中心に増加がみられる。その中で、利用者をひとくくりにして作業や支援を同様に捉えるのではなく、個別に今の当人の状況や障害特性を加味して「個別の対応＝一人一人の利用・支援の在り方」を大切にしている。またその点では一定の評価を頂けている声も聞かれていますので、今まで以上に法人理念でもある「愛語回天」＝「利用者の方に、家族などと同様に愛をもって(丁寧に)関わる(支援する)事」でそれが周り私たち(職員・事業所・法人)も愛されていく(評価してもらえる)を大切に、職員の質を向上させていく必要がある。

また、秋より放課後等デイサービスの定員拡大及び事業所増設を行うにあたり、児童の新規契約の拡大と支援の質の向上が必要になる。児童のサービスは、お子さんの成長・発達への支援は勿論であるが、ご家族ニーズが主になり、そのご家族のニーズも各ご家庭事情等により多岐に渡る(営業時間・送迎サービスや範囲・祝日サービス等)為、それらに柔軟に対応した事業展開を進めていきたい。

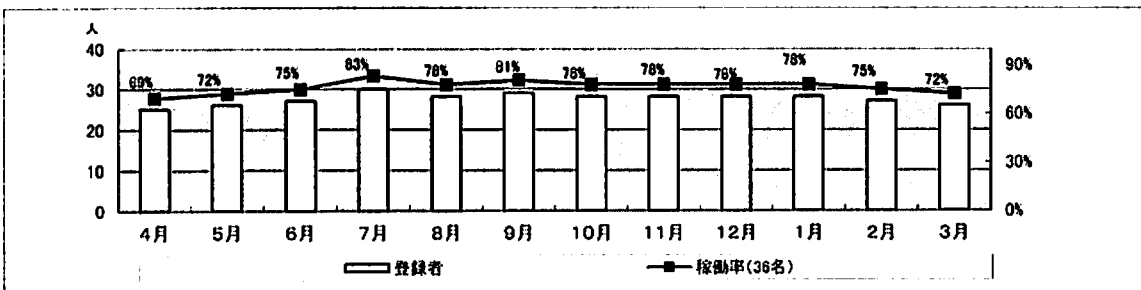
実施活動

4月	花見行事(獅子吼)	10月	あったかまつり
5月	石川県障害者スポーツ大会(フライングディスク)	11月	紅葉ドライブ(鶴来道の駅)
6月	手作り石けん作り	12月	クリスマス会
7月	ポーリング(マンボウ小松)	1月	さらだ・ひかり合同新年会(もち作り)
8月	流しそうめん	2月	電車での外出(美川)
9月	外出(足湯)	3月	プラネタリウム(根上図書館)

相談支援室(障がい)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規計画利用数	4	3	1		2	1	1	2	2	1	0	0	17
計画・モニタリング・調査	38	44	51	43	35	38	27	25	42	39	36	46	464
支援1人当り利用者数	84.3	80.4	80.4	80	80	80.4	80.8	95	95	96	96	96	87.0
登録者	194	204	201	200	200	201	202	211	211	212	212	212	205.0
中止利用者数	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率(200名)	105%	102%	101%	100%	100%	101%	101%	106%	106%	106%	106%	106%	103%



相談支援室(介護)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規計画利用数	4	1	1	4	0	1	1	1	0	0	0	0	13
計画・モニタリング・調査	28	21	26	27	14	14	28	28	28	28	24	22	288
支援1人当り利用者数	25	26	27	30	28	29	28	28	28	28	27	26	27.5
登録者	25	26	27	30	28	29	28	28	28	28	27	26	27.5
中止利用者数	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	1	6
稼働率(36名)	69%	72%	75%	83%	78%	81%	78%	78%	78%	78%	75%	72%	76%

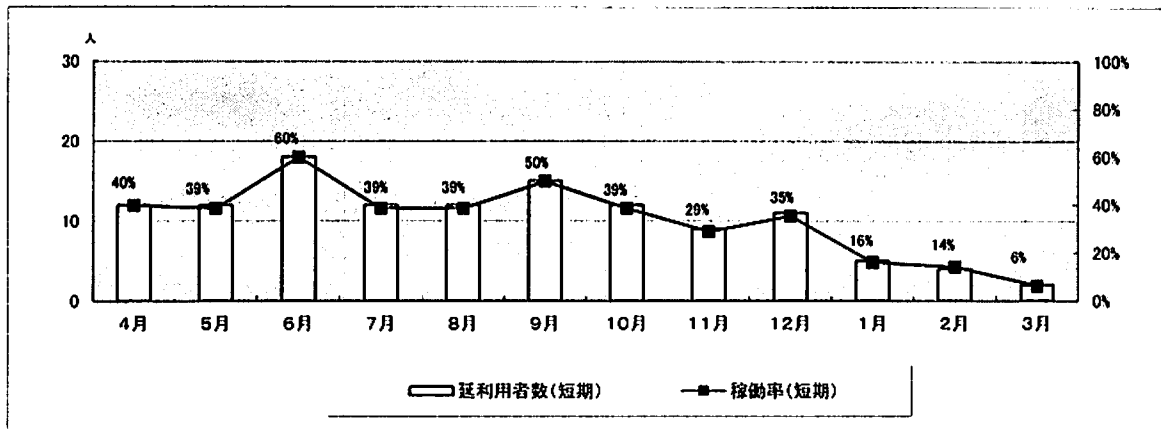


29年度事業報告と30年度事業の展開

相談支援専門員3名(1名兼任)配置し、特定事業所加算を請求できるようになったことで、収入が大幅アップした。反面、相談支援専門員兼務の介護支援専門員が年度途中で、家庭の事情で退職の意向を示し、時短勤務を継続してきたことで、毎朝の前日の相談支援の振り返りを行うためのミーティングを継続できなくなり、OJTの機会も減少したため、人材育成は不十分に終わった。実質、2名で障害の相談を担うこととなり、相談支援専門員の負担が強くなった。次年度、新たに相談支援専門員配置を予定していて、OJT、振り返りミーティングを継続的に行うことで人材育成をはかる。

能美市地域自立支援協議会へ参画し、子ども連絡会では事務局を担い、「のみ育ちの支援マップ」という成果を形にすることができ、市の信頼を得られることができた。今後は、法人のアンテナとして、行政の動向や地域ニーズを法人運営に活かせるように意識してフィードバックしていきたい。

フレンズ(入居・短期)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数(入居)	208	206	208	209	208	206	215	209	212	209	195	216	2501
入居者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0
延利用者数(短期)	12	12	18	12	12	15	12	9	11	5	4	2	124
平均利用者数	6.93	6.52	6.71	6.48	6.65	6.80	6.90	6.93	6.71	6.71	6.93	6.94	6.8
支障1人当利用者数	7.33	6.9	7.29	6.87	7.03	7.30	7.53	7.23	7.06	6.87	7.07	7.00	7.1
新規利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中止利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
稼働率(入居)	99%	95%	99%	96%	96%	98%	99%	96%	98%	96%	99%	100%	98%
稼働率(短期)	40%	39%	60%	39%	39%	50%	39%	29%	35%	16%	14%	6%	34%



29年度事業の報告

- 上半期、29年3月ベテラン社員の退職があり、未経験者の採用と育成に取り組んだ。また週1回勤務職員の育成と並行して、世話人の退職による食事準備態勢の再構築と大きく体制を変えることに取り組んだ。
- 新人含めて障害者支援の基本的なスキル不足、具体的には言葉づかいや態度において、入居者さんへの心理的な影響度合いに対しては経験不足である。
- 夜勤者＝支援員による世話人業務の分担を行った。

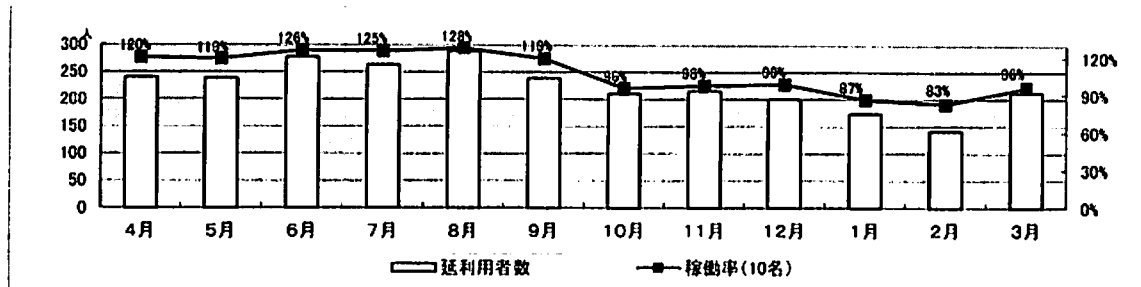
30年度事業の展開

昨年度、未経験者の採用と育成に取り組んできたが、今年度早々から退職者が出ることとなってしまった。夜勤中心の勤務形態や一人での勤務という他事業所とは違う特殊な就業環境、知的障がい者の生活支援という専門性を担保するための研修体制など、課題は多いが、一つ一つの課題に丁寧に取り組み、7名の入居者が安心でき、元気な暮らしが送れるよう、体制を整えていきたい。

実施活動

4月	花見	10月	
5月		11月	紅葉狩り・誕生会
6月	誕生会	12月	クリスマス会
7月	バーベキュー	1月	お正月・初詣・誕生会
8月	誕生会	2月	節分・誕生会
9月	誕生会	3月	ひな祭り

ぶっついさらだ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	240	238	277	263	288	238	210	215	200	173	141	212	2695
平均利用者数	12	11.9	12.59	12.52	12.77	11.9	9.55	9.77	9.9	8.65	8.29	9.64	10.8
支働1人当利用者数	1.8	1.43	1.51	1.44	1.21	1.33	1.27	1.18	1.2	1.17	1.13	1.23	1.3
新規利用者数	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
中止利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率(10名)	120%	119%	126%	125%	128%	119%	96%	98%	99%	87%	83%	96%	108%



29年度事業の報告

- 事業目標: 既存の子供達の継続的利用
- 具体的な取り組みと達成状況

具体的な取り組み	達成状況
運転時や外出活動の際の安全面の配慮	送迎時(特に低学年がいるところ)には必ず添乗をつけて、ドライバーは運転に集中できる環境を整えた。また外出活動の際は離席の恐れのある利用者については必ず担当で職員がつくようにし、ハプニングは減っている。
親御様との連絡を取りやすくし安心につなげる	連絡のやり取りを連絡帳だけでなく、スマホを使って行うことで親御様とのやり取りを円滑に行うことができた。また写真を送付することでその日のぶっついでの様子も伝わりやすくなった。
長期休暇の活動内容充実	放課後の時間では出来ない体験(外出行事や買い物学習)をして、社会のルールを学びつつ、楽しみながら活動することができた。

3. 現状課題

職員の人員が充実したことにより、外出や送迎など、子供達の安全面は強化されているが、人が増えた分、職員間の連携や共有不足が一つの課題といえる。また利用者も増加したことで今の施設では手狭なことも現状である。

30年度事業の展開

- 事業目標: 稼働率90%を一年間継続する
- 具体的な取り組み

1	需要のあるプールレッスンの日を一日増やし、新規の利用児もレッスンに参加できるようにする。
2	職員間の連携を高め、より良い支援の提供に努める。(問題点の改善・情報の共有の徹底)
3	自立した日常生活を営むために必要な訓練のプログラムの思考や地域交流の機会の提供など、はかり施設の特色を出す(他事業所との差別化) 営業時間の延長(10月～を目処に)

実施活動

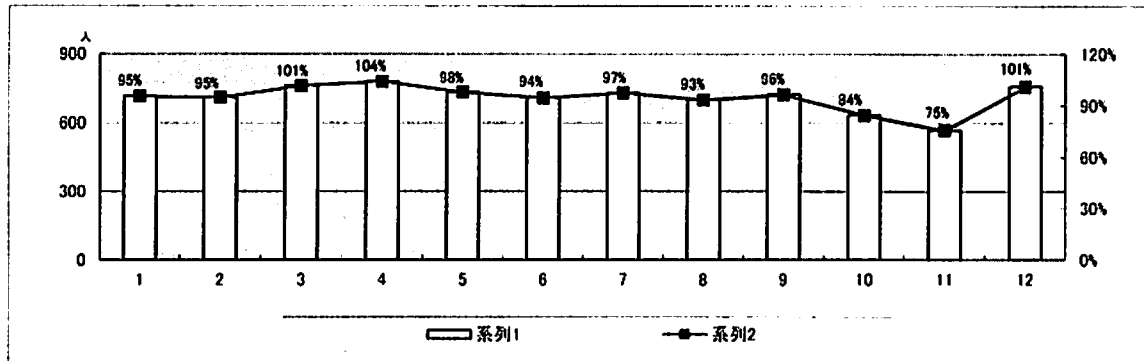
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○お花見の会 ○壁面用こいのぼり作り ○母の日カード作り(カーネーション) 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の食べ物クッキング(さつまいも) ○秋の製作 ○壁面用のハロウィン飾り ○ハロウィンのお楽しみ
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○てるてる坊主作り ○壁面用かえる・あじさい作り 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ○壁面用の雪だるま作り ○ツリー作り
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○壁面用かえる・あじさい作り ○七夕用の飾り、短冊作り 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ○クリスマス会 ○年賀状作り ○書き初め練習 ○冬休みの外食体験(グループ学習) ○壁面用の雪だるま作り
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○七夕用の飾り、短冊作り ○壁面用夏かざり作り ○プール 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ○書き初め ○お正月遊び(福笑い、風揚げ) ○冬休みの外食体験(グループ学習) ○壁面用雪の結晶作り
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸散歩 ○スイカ割り ○流しそうめん ○プール 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ○節分の鬼作り ○節分レクリエーション ○春の壁面用さくらの木作り ○ひなかざり作り
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの思い出アルバム作り ○もみじ狩り ○壁面ハロウィン作り 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ひなかざり作り ○春の壁面用さくらの木作り ○春休みお買物学習 ○ひなまつり

デイサ花花

収入 16,340千円 支出 13,930千円 収支差額 2,410千円

(1~3月)

花花	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	715	710	760	779	733	708	731	700	722	633	566	757	8514
平均利用者数	29.8	29.6	29.2	30	29.3	28.3	29.2	29.2	30.1	27.5	25.7	29.1	28.9
介護1人当利用者数	3.27	3.55	3.56	3.64	3.33	3.14	3.21	3.23	3.24	3.7	3.17	3.67	3.4
新規利用者数	3	1	4	0	2	0	2	0	3	2	1	4	22
中止利用者数	3	2	2	3	4	0	0	1	2	1	1	1	20
稼働率(750名)	95%	95%	101%	104%	98%	94%	97%	93%	96%	84%	75%	101%	95%



29年度事業の報告及び30年度事業の展開

平成30年1月より、運営法人が医療法人から社会福祉法人泰耀に変更となる。法人変更後も利用者へのサービス継続のため、家族、担当ケアマネジャー等、関係者との連絡・連携に努めた。医療法人の時から課題として、①職員のスキルアップ(計画書や日々の記録類の充実、認知症ケア、チームワーク)、②時間内に仕事を終わらせること、③建物・設備の維持管理が挙げられる。中でも①と②は密接な関係にあり、①について職員個々においては、自身のスキルアップに主体的に取り組むこと、管理者はそれを支援することをアイデアパスを使って実践していきたい。①に取り組むことで、②も一部は解決されるものとする。ただし、職員個々のスキルアップだけでは補えない人員不足の課題も残されており、現職員の離職防止の取り組みと合わせて新規職員の獲得は急務である。③については、開所より10年が経過し、建物、備品を問わず経年劣化や故障が目立ち始めているが、日々の清掃やメンテナンスを怠らず、修繕費の節約に努めることとする。

30年度においても、利用者満足の上昇に努め、稼働率90%以上を維持していくことを目標とする。具体的には、上記①②③の取り組みと、デイサ花花の強みである機能訓練を軸としたサービスの再構築を行い、現利用者の心身機能の維持向上、活動・参加につながる支援を追求していきたい。

実施活動

行事	内部研修
4月 花見	介護予防
5月 端午の節句、外出行事	事故の発生予防、再発防止
6月	倫理及び法令遵守・プライバシー保護
7月 七夕	身体拘束等の排除、虐待防止
8月	認知症及び認知症ケア
9月 秋祭り	感染症及び食中毒の発生予防及びまん延の防止
10月 湖北地区作品展	非常災害時の避難、救出訓練(消防署員立会い)
11月 かがりび作品展	緊急時の対応(救命講習)
12月 クリスマス会	(予備月)
1月 新年会	法人全体研修(新年研修会)
2月 節分	来年度の取り組みについて
3月 ひなまつり	現任研修(当該サービスに関する研修)